

平成 30 年度事業計画（法人）

平成 30 年度は、第 1 次中期経営計画の 3 年目に当たる。

この第 1 次中期経営計画は、5 ヶ年計画であるが、3 年毎に見直しを行うので、この事業計画が第 1 次中期経営計画としての最後の取組となる。その取組を積極的に進め、法人の事業基盤の一層の強化に努めるとともに利用者に対するサービスの質の向上に繋げていくものとする。

特に今年 6 月末には、グループホーム巨椋華の隣接地にグループホーム、ショートステイに居宅介護事業所を併設した新しい施設が完成する予定であり、法人設立 25 周年に彩を添えることになる。

1. 法人の課題とその方向性

(1) 施設建物、設備、備品管理について

- ・経年劣化による施設補修と備品更新
- ・下水道化に向けた複合施設部分の方向性決定
- ・LED 照明への切換え検討
- ・施設事業の再編

(2) 組織管理について

- ・グループホームと居宅介護、ショートステイの連携
- ・法人本部機能の強化
- ・衛生管理者の養成
- ・第三者評価の受認
- ・リスクマネジメント体制の構築

(3) 人材、人事管理について

- ・新卒者の正規職員採用
- ・常勤嘱託職員の正規職員化
- ・ノー残業デイとリフレッシュ休暇の促進
- ・資格取得への助成
- ・研修の体系化
- ・ストレスチェックの実施

(4) 事業運営、財務管理について

- ・中期経営計画の実行
- ・事業の積極的見直し
- ・管理職員の経営的視点の醸成
- ・修繕、施設整備資産の積立
- ・法人だよりの発行

2. 新たな事業展開と現行事業の拡大

(1) グループホームの建設、運営について

- ・グループホームの開設とその経営
- ・グループホーム設立に係る親の会等との連携
- ・相談支援事業所の充実

(2) 旧渡辺製袋建物と笠取事業用地の有効活用について

- ・菓子工房うじがわの移転検討
 - ・笠取事業用地の活用検討
- (3) ショートステイの移転と居宅介護の事業拡大について
- ・新規グループホームへの併設と経営

3. 地域貢献と公益事業

- (1) 地域交流、地域活動の推進と協力について
- ・まつりの継続開催
 - ・地域美化活動と花壇づくり等の地域活動に参加
 - ・市内イベント等への出店協力
 - ・職員のボランティア活動への参加促進
 - ・介護施設への慰問活動の実施
- (2) 教育実習や教育体験、社会貢献活動について
- ・地域小学校と中学校の福祉見学、福祉体験の受入れ
 - ・支援学校生徒の実習受け入れ
 - ・更生保護に係る社会貢献活動の受入れ
- (3) 公益事業について
- ・公益事業への積極的協力と参加